記者発表資料

平成２０年11月４日
東北地方整備局
鳴子ダム管理所

鳴子ダム完成から５０年を迎え

～宝の都（くに）・大崎～

「第2回みちのくダム湖サミット」開催

11月13日(木)鬼首リフレッシュセンター

ダムにおける水源地域の活性化及び周辺整備に関する情報交換・研究活動の一環として、観光・学習など地域交流の場として積極的なダムの利活用を促進するための意見交換を図ります。本年度は鳴子ダム管理５０年の節目を迎える年であることから、鳴子ダムを有する大崎市で開催されることとなりました。

開催内容は下記のとおりです。

第１部「宝の都　大崎」水源地域活性化活動発表

鳴子ダム近郊で地域活動をしている方々が集まり、活動状況の発表をします

第２部「ダム湖からの発信－個性のある地域を目指して－」

東北の直轄管理ダム所在地市町長が集まり、活力ある水源地域の創出に向けた地域間の情報交換や地域との関わりなどについて、情報発信のための意見交換を行います。

開催日時：平成２０年１１月１３日（木）13:00～16:50
（12:30受付開始）

会場：鬼首リフレッシュセンター
住所　宮城県大崎市鳴子温泉鬼首字原４３番地１
TEL　０２２９－８６－２２０１

主催：東北ダム事業促進連絡協議会　管理研究部会
共催：東北地方整備局　河川部
協力：「鳴子ダム管理５０年」事業実行委員会
参加費：無料

鳴子ダムホームページhttp://www.thr.mlit.go.jp/naruko/

※発表記者会

古川記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　鳴子ダム管理所
所　　長　柏谷　稔
管理係長　黒沼　俊一
TEL 0229-82-2341　FAX 0229-83-3855

ダムと地域のこれからへ向けて

第2回 みちのくダム湖サミット

Michinoku Dam-ko Summit

入場無料

平成20年11月13日（木）

13:00～16:50

（12:30～受付開始）

会場：鬼首リフレッシュセンター

第1回 みちのくダム湖サミット

第1回みちのくダム湖サミットの様子

鳴子ダム すだれ放流

あつまれ鳴子ダム2008

今回開催する「みちのくダム湖サミット」は、前回開催時の「サミット宣言」である各種イベントの継続、上下流の連携・協力、交流（つながり）をうけ、第１部では鳴子ダム近郊で活動されている方々の活動状況報告、第２部ではダム水源地域が持っている個性をどのような形で情報発信していけばいいのか、「ダム湖からの発信」をメインテーマとして討論します。

プログラム

■開　会

■部会長あいさつ

■来賓あいさつ

■歓迎のあいさつ

■第1部 活動発表

「宝の都 大崎」水源地活性化活動発表

<ナビゲーター>

NPO法人 鬼首山学校協議会副理事長　大沼 幸男 氏

<発表者>

鬼首神楽保存会　後藤 錦信 氏

鳴子の米プロジェクト　上野 健夫 氏

鬼首地域づくり委員会　高橋 公 氏

みやぎ・オニコウベやさしい木道づくり実行委員会　向田 晃 氏

鳴子温泉旅館組合女性委員会　遊佐 千恵 氏

■第2部 ダム湖サミット

テーマ「**ダム湖からの発信**
ー個性のある地域を目指してー」

<コーディネーター>

宮城大学副学長　山田 晴義 氏

<パネラー>

三春町長　鈴木 義孝 氏（三春ダム）

西川町長　近松 捷一 氏（寒河江ダム）

仙北市長　石黒 直次 氏（玉川ダム）

川崎町長　佐藤 昭光 氏（釜房ダム）

七ヶ宿町長　梅津 輝雄 氏（七ヶ宿ダム）

大崎市長　伊藤 康志 氏（鳴子ダム）

東北地方整備局 河川部長　田上 澄雄 氏

※都合により出演者が変更する可能性があります。ご了承ください。

■閉　会

鳴子ダム管理50年・技術の伝承展
同時開催（旧鬼首中学校体育館）

主催／東北ダム事業促進連絡協議会 管理研究部会

共催／東北地方整備局 河川部　協力／「鳴子ダム管理 50 年」事業実行委員会

事務局／三春町役場 産業建設課 都市グループ
〒963-7796　福島県田村郡三春町字大町１番地２
TEL：0247-62-2111（代表）　FAX：0247-61-1110
E-mail：miharumg@town.miharu.fukushima.jp

ダムと地域のこれからへ向けて

第2回 みちのくダム湖サミット

Michinoku Dam-ko Summit

Part I

第1部 活動発表

「宝の都 大崎」水源地活性化活動発表

ナビゲーター

NPO 法人 鬼首山学校協議会副理事長

大沼 幸男 氏

廃校を利用する「鬼首山学校」の設立、鬼首地区の荒れ地を整備し、地域づくり活動の体験フィールドとして活用する「きつね森」の活動など、特色ある地域活性化に取り組む。

発表者

鬼首神楽保存会

後藤 錦信 氏

鬼首神楽は平泉藤原文化の貴重な伝統芸能で、9月の荒雄川神社の祭礼で神楽の舞が奉納される。保存会では、鬼首神楽を次の世代へ残すため、伝承活動に力を入れている。

鳴子の米プロジェクト

上野 健夫 氏

山間地での栽培に適した「ゆきむすび」を使い、地域全体で山間地の農業を守ろうという取り組みを推進している。その他に、「日曜山村学校」を通じて、都会の消費者に農業の事情を理解していただいている。

鬼首地域づくり委員会

高橋 公 氏

かつて東北最大級といわれる広大なススキ原野があった鬼首地区。そのススキ野原の復活を目指し、低木の伐採や野焼きの復活等、今後 10 年余りをかけ、整備活動に取り組んでいく。

みやぎ・オニコウベやさしい木道づくり実行委員会

向田　晃 氏

「鬼首インディペンデンスボードウォーク」は、間伐材を利用したボードに、メッセージや絵を描いて、車椅子でも自然の中で健常者と同じように緑を親しめる環境を整備し、「森のバリアフリー」化を進める活動を行っている。

鳴子温泉旅館組合女性委員会

遊佐 千恵 氏

鳴子温泉の女将たちでつくる委員会。大崎市の新沢醸造店の協力を受け、女将たちの手でつくった梅酒「女将の梅酒」を夕食の食前酒としてお客様への提供を目指し、活動を行っている。

Part II

第2部 ダム湖サミット

テーマ「ダム湖からの発信 －個性のある地域を目指して－」

「地域活性化のためには、どのような情報を発信するか」「地域の個性を再発見」などを中心に討論していきます。

コーディネーター

宮城大学副学長

山田 晴義 氏

名古屋市生まれ。明治大学大学院終了後、東北工業大学（建築学科）、岩手県立大学（総合政策学部）をへて現職。工学博士。専門は地域計画で、主な研究は中山間地域の再生、コミュニティ再生。著書に「地域再生のまちづくり・むらづくり」（2003 年、ぎょうせい）など。

パネラー

三春町長　**鈴木 義孝** 氏（三春ダム）

川崎町長　**佐藤 昭光** 氏（釜房ダム）

東北地方整備局 河川部長　**田上 澄雄** 氏

西川町長　**近松 捷一** 氏（寒河江ダム）

七ヶ宿町長　**梅津 輝雄** 氏（七ヶ宿ダム）

仙北市長　**石黒 直次** 氏（玉川ダム）

大崎市長　**伊藤 康志** 氏（鳴子ダム）